

令和4年度 学校自己評価

学校法人嶋田学園飯塚高等学校

建学の精神	将来の地域を支える青少年の育成	明治34年、飯塚を訪れた文豪 森鷗外は地元との交流の中で地域における教育の大切さを説いた。その薫陶を受けた先人の思いが受け継がれ、昭和37年に学校法人嶋田学園飯塚高校が設立された。長崎街道の宿場町であった江戸時代から飯塚は外国人を含む多様な人々が往来した町であった。本校ではこうした歴史に醸成された「進取の気性」を大切にしながら、建学の精神を受け継ぎ、将来地域社会や世界の問題を広い視野で考え取り組んでいく若者の育成を目指している。				
校訓	熱力誠	「熱い心をもって真摯に学び、努力を継続することで真の力を身に付け、何事にも誠心誠意、誠の心を尽くす」				
教育目標	一人ひとりの資質を開発し、時代と郷土の要請に応える明朗で心豊かな人間を育成する					
教育指針	(1) 基礎基本の徹底を図り、確かな基礎学力を基盤として、社会に積極的に参画する意識を高め、持続可能な社会の創り手となれるような資質と能力を身に付けさせる (2) 実践的な英語教育を基盤に、国際交流やSDGsの取り組みなどを通して、多様な人々と繋がりがながら自分を表現できる力を養成する (3) 地域との連携を図り、地域とともに生徒を育成するプログラムを推進することで、新たな「人・もの・こと」との出会いを大切にしながら課題解決していく力を育てる (4) 人権教育及び特別支援教育の視点に立った教育活動を推進し、自他の人権尊重の精神を養い、人間関係形成能力を向上させる					
スクールミッション ・ スクールポリシー	スクールミッション			スクールポリシー		
	目指す学校像	目指す生徒像	目指す教師像	アドミッションポリシー(求める生徒像)	カリキュラムポリシー(本校の教育活動)	グラデュエーションポリシー(育成を目指す資質・能力)
	①何事においても生徒が主体的に活動する学校 ②多様な人々との繋がりを大切に教育活動を実践する学校 ③地域からの信頼にこたえ、地域とともにある学校 ④教師、生徒が信頼と尊敬に満ちた学校 ⑤校舎内外が常に整備され、清潔感に満ちた学校	①志を持ち、学ぶ喜びや働く喜びを実感できる生徒 ②未来を切り拓き、世界を舞台に活躍する生徒 ③地域を知り、地域の課題解決に向け挑戦できる生徒 ④自分を律し、規則やルールを守る生徒 ⑤人権感覚を磨き、より良い仲間作りと生き方を求め続ける生徒	①時代のニーズに柔軟に対応できる教師 ②教育の専門職として常に自己研鑽に励む教師 ③毅然とした姿勢で教育活動に臨む教師 ④「師弟同行」・「率先垂範」を実行する教師 ⑤組織の一員として教育活動に取り組む教師	①明確な目的意識を持ち、各科・コースで意欲的に学ぶことのできる生徒 ②自分や周囲の出来事に関心を持ち、探求する意欲を持った生徒 ③遅刻や欠席なく通学できる生徒 ④気持ちのいい挨拶ができる生徒	①各科・コースの特色を生かし、生徒の個性・適性に応じた教育 ②ICTの積極的な活用とAL(アクティブラーニング)を重視した教育 ③SDGs活動の推進とグローバル教育の充実 ④人権教育・特別支援教育の視点に立った教育	①確かな学力の習得と将来にわたって学び続ける姿勢 ②各種検定・資格の取得と第一希望進路の実現 ③高度な英語力とグローバルスキル ④人権尊重の精神と人間関係形成能力
昨年度の成果と課題			令和4年度教育重点目標			総合評価
・令和4年度完全実施となる新学習指導要領に対応した教育課程を編成した。 ・観点別評価導入に向けて職員研修を実施し、各教科で検討、実施に向けた準備を進めた。 ・1年生へのiPadの導入は6月にずれ込んだが、各教科で積極的に活用できている。2、3年生も学校所有の機器を活用した授業や海外姉妹校との交流授業を行った。 ・進路指導体系の見直しは進んだが、系統立てた指導は次年度の課題である。 ・問題行動件数は減少しているが、SNS関係のトラブルの増加とその対処に課題が残った。 ・7月に飯塚市商店街連合会、飯塚市商工会との連携協定を締結した。今後は地域活性化に向け新たな連携プログラムを推進していく予定である。 ・生徒会はSDGs活動を積極的に推進してくれたが、各委員会の活性化までは至っていない。生徒の各委員が主体的に活動できる体制づくりが急務である。 ・教育情勢の現状や新学習指導要領実施、ハラスメント防止等の研修を実施した。			『創立60周年を契機とした学校活性化の推進』 (1) 学科・コースの見直しと改編 ①各コースの現状把握と改善 ②改編案及び教育課程の作成 (2) 確かな学力の習得 ①3年間を見通した系統性のある授業の実施と観点別評価の導入 ③SDGs活動の推進とグローバル教育の充実 ②ICTの積極的な活用とAL(アクティブラーニング)の推進 ④地域との連携による総合的な探究活動等の推進 (3) 系統立てた進路指導の確立 ①多様な進路、入試形態、模試結果等の分析と対策 ②高い進路目標設定と個別最適な学びの確立 (4) 自律心の育成 ①規範意識の醸成 ②生徒会・委員会活動の活性化 (5) 人権教育及び特別支援教育の視点に立った学習活動の充実と環境整備			
分掌	具体的目標	目標達成に向けての取り組み		数値目標	評価	成果と課題
総務部	学校行事・教育活動の企画	学校行事の企画立案 教育活動の円滑な実施		各行事の二週間前までに起案		
	生徒の学習環境の充実	生徒美化委員会との連携		該当学年・分掌との事前打合せの実施		
		清掃点検活動の企画		美化委員会活動への参加		
		清掃用具等の調査・整備		美化点検活動の実施(月1回)		
	後援会等との緊密な連携	後援会役員との連携		私学助成顕著者協力率90%以上、後援会総会への参加90%以上		
学校行事の広報活動	同窓会役員との連携		同窓会名簿の整理			
	学校企画部・生徒募集委員会との連携	学校企画部・生徒募集委員会との連携		合同会議への参加(月1回)		
教務部	教育課程の整備	学科・コースの見直しと改編に伴い、教育課程を作成		教科主任会議、教科会議の実施		
		コースの目的を踏まえ、協議を行い作成		コース長会議、コース会議の実施		
	学び方・学ぶ姿勢の改善	観点別評価基準が含まれた年間指導計画の作成		観点別年間指導計画の公開(5月)		
		立腰教育の継続		全ての授業での立腰の実施		
		欠課時数過多生徒への教務面談の実施		科目未履修者0		
成績・学籍管理の利便化	現状の成績管理、処理、出席統計、各種会議資料等の電子化、簡易化、利便化					
	校務支援システムの導入設計		令和5年度導入、運用開始			
自律心の育成	各種教育講演・特設授業の実施、全校集会や学年集会での生徒指導講話の実施		年間10回以上、特別指導件数減少			
自律心の育成	教務部と連携しての遅刻欠席に関する指導・説諭		遅刻・欠席者数昨年度比65%			

生徒指導部	規範意識の醸成	規律ある学年集会の実施	月1回以上実施		
		自己点検と事前指導（学年準備）の実施	自己点検該当者昨年度比50%		
		朝のSHRでの身だしなみチェックの実施	修3回以上		
	人権尊重の精神の育成	各種教育講演・特設授業の実施、全校集会や学年集会での生徒指導講話の実施	いじめ件数減少		
		いじめや人権尊重を欠いた言動に関する情報共有の実施	月1回以上実施		
地域から愛される生徒の育成	登校指導によるあいさつ、地域美化、地域貢献指導の実施	校外からの苦情件数減少			
	部活動代表者会議を開催し、地域貢献活動を展開	半期に1回以上開催			
人間関係形成能力の向上	OJT研修の実施、生徒リーダー研修の実施	人間関係トラブルの深刻化件数減少			
	SS（社会技能・社会性）研修、教育講演の実施				
進路指導部	生徒一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出した上での志望校決定及び合格	模擬試験の実施・分析による個別の課題の発見と対策の実施	前年度より高ランクの大学を含む国立4年制大合格5名以上、難関私大合格5名以上、福岡大学合格20名以上		
		ボランティア等のフィールドワークを通じての学力・教養の涵養			
		進路調査、面談等による情報収集による最適勝ち細やかな指導の実施			
	生徒の適性を見極めた上での最適就職先の周旋と決定及び内定率100%	長期にわたる視点に立った学力・教養・立ち居振る舞いに対する指導 進路活動を通じての生徒の進路適性の把握と最適な進路先の決定	学校紹介就職率100%、早期の離職者0		
系統立てた進路指導の確立	担任、生徒、進路指導部の協働的な関係の確立 上級学校との連携による知的好奇心の育成	進路のPDCAサイクルの明確化 上級学校との交流（前後期各1回）			
学校企画部	国際交流の拡充	オンライン活用と姉妹校との交流	国際交流数平均月3回以上		
		留学生との交流機会の創出	半期に一度留学生交流会の実施		
	ICT活用促進	ICT活用率向上と活用スキルアップ	ICT活用率100%		
		校内会議におけるICT活用推進	会議のペーパーレス化		
	生徒主体の活動活性化とSDGs推進	地域・商店街と連携したSDGs活動活性化	SDGs参加率100%		
		生徒会・委員会活動の強化	専門委員会月1回の開催		
	対外活動と新たな発信	幼稚園・小中学校・大学との連携企画の拡充	幼・小・中学校・大学との連携事例5つ		
オープンキャンパス・出前授業の発信強化		広域（筑豊外）からのオープンキャンパス参加1.5倍			
企画会議の活性化	横断的な企画会議の実施 内外の情報分析と企画立案	企画会議（ワクワク会議）随時開催			
第1学年	規範意識の向上と基本的生活習慣の確立	毎日の身だしなみ指導の徹底と授業態度指導を通じて自律力の育成	全クラス指導対象生徒0が週3日以上		
		毎日の遅刻・欠席指導を通じて生活習慣の定着	無遅刻・無欠席の生徒各クラス70%以上		
	学習習慣の定着と探求力の育成	立腰指導の定着によるスムーズな授業への導入	立腰実施100%		
		放課後学習会実施による基礎学力の定着 タブレットの活用による積極的・自発的に物事を追及しようとする姿勢の育成	各種学習会週1回実施 年度末における生徒の進路目標発見100%		
他を尊重し、認める、受け入れることのできる人間性の育成	学校行事・各種集会を通じて集団の中での個の理解	各種集会での居眠り・私語0%			
第2学年	規律遵守、自律心の更なる向上と目標に対する学習意欲・活動の継続	規律の徹底と集会ごとの自己点検実施、全活動での自主的な行動喚起	皆勤者50%、特別指導生徒0		
		「立腰」による姿勢・意識作りの継続、授業態度・身だしなみ指導の徹底	生徒指導部強化指導対象生徒0		
		iPad活用による長期休業中の学習課題提供、考査に対する早期対策と居残り学習会の実施	追試・追指導者0、長期休業中課題提出100%		
	学校行事への積極的な参加による自己啓発の促進、協調性、社会性の育成	学校行事・部活動・コース活動への積極的参加、体育祭・修学旅行を通じてのリーダー育成	60周年行事での商店街とのコラボ		
		地域等のボランティア活動への積極的参加、生徒会役員の積極的活動	地域ボランティアへの参加		
進路意識の深化、達成への努力促進、進路目標の設定・確立	修学旅行を通じてのSDGs学習、問題意識・課題解決に対する自発的取組	修学旅行での震災学習			
	個々の希望に応じた進路指導（定期的な進路希望調査・二者面談）				
	「総合的な探求の時間」を通じて、生徒個々の職業・進路意識の向上と育成	学園未までの進路目標設定80%			
第3学年	進路決定における結果及び満足度の充実	進路実現分析会及び放課後学習会の実施	進路決定者100%、進路決定満足度100%		
		国家試験及び検定対策講座の実施	国家試験合格目標100%、各種検定合格率アップ		
		模試分析会の実施	毎月開催、フィードバック率100%、目標偏差値達成		
		進路事務室の有効利用・活用	有効利用の向上		
	リーダーとしての資質・能力の向上及び実践活動の充実	地域・企業・各種学校との企画・運営面での活躍の場の創出	参加率100%		
		部活動・その他の活動の充実 生徒会活動の充実	活動実績、充実度向上 活動率向上（学年活動との連携）		
規範意識及び生活習慣の向上（社会性の向上）	朝の風紀チェック及び指導 生活上プログラムの実施	チェック数50%減（対2年次比） 遅刻・欠席数50%減（対2年次比）			
二級ガソリン・エンジン、二級ジーゼル・エンジン	国家試験対策授業の強化、模擬試験の実施	二級ガソリン・エンジン、二級ジーゼル・エンジ			

専攻科	ン国家試験全員合格（2年生）	国家試験問題の分析及び専攻科オリジナル問題作成	ン国家試験合格100%			
	第一希望会社への就職内定（1年生）	各版社の企業研究及び会社訪問の実施（3社以上）	第一希望会社への就職内定100%			
	就職活動に有利となる資格の取得	電気自動車等の整備における特別教育の実施 先進安全自動車（エーミング作業）講習会の実施	各メーカー協力による特別講習3回以上実施、資格の取得			
	自動車エンジニアコースとの共存共栄	自動車エンジニアコースとの連携（特別授業の実施、合同授業等） 5年一貫教育とした整備士の育成	自動車エンジニアコースとの合同授業各学年2回以上			

特別進学コース	コース全体で大学進学を目指す意識の徹底	大学の良さを伝える機会、大学・大学生との交流機会の創出 大学入試に向けた分析会、特別講座開講、教員研修拡充	大学進学希望率100% 分析会年4回以上			
	生徒の自律性及び思考力、判断力、表現力の強化	自主学習の喚起 探求・商店街連携・SDGs活動などの活用				
	特進としての募集戦略の策定	部活動とも連携した対外的アピール強化 国際交流の拡充、世界と関わるコースとしてアピール	推薦入試受験者増 国際交流経験率100%			
医療福祉進学コース	実習に関する福祉施設への就職者指導	介護実習における事前学習（実習への意欲や姿勢）の強化 ボランティア要請への応答	施設への就職10名			
	医療・リハビリ系学校への進学	入試形態、受験科目の確認、放課後学習指導の実施 作文・面接指導の早期実施	医療福祉系大学、看護学校への進学			
	国家試験合格率の向上・維持	日々の授業の復習徹底 模擬試験の実施と結果分析による意欲喚起	国家試験合格率85%			
こども保育進学コース	風紀指導及び生活習慣指導の強化	毎朝の風紀チェックの徹底とコース集会時のチェック実施 欠席及び遅刻者への面談実施	特別指導生徒数0 月間3回以上			
	進路実現に向けた学力向上と進路指導の個別最適化	定期考査前学習会の実施 英検及び漢検前の学習会の実施	クラス学習会参加率100% 英検3級、漢検3級取得率100%			
	ピアノ演奏技術の習得及び保育技術検定合格率の向上	ピアノ教則本バイエルの各年次目標達成の指導強化 保育技術検定の各年次目標達成の指導強化	各年次目標達成100% 各年次目標達成100%			
自動車エンジニアコース	三級自動車整備士国家試験全員合格	オリジナル国家試験対策問題の作成 欠課時数を減らすための補講の実施	国家試験合格者100%			
	自動車専攻科と一本化した指導体制	専攻科による出前授業の実施（専攻科主催ディーラー研修会への参加等） 専攻科との密な情報交換	専攻科との交流各学年2回以上			
	モノづくりの体現	グループワークでの制作活動 車の構造理解の深化	各学年1作品の製作			
製菓コース	仕事を通して社会貢献できる人材育成	学校生活や日常生活における基本的な習慣の確立 自ら率先して行動、自分で考え判断し行動する姿勢の育成	無遅刻・無欠席・身だしなみ違反0 進学・就職合格100%			
	基本技術と資格の取得	日々の技術練習の徹底 授業への取組重視	製菓衛生士国家試験100%合格			
健康スポーツコース	リーダー育成	専門的な知識・技能の習得、努力する姿勢、主体的に取り組む姿勢の確立 各部の部長、主将によるリーダーズミーティングの開催	リーダーズミーティング年10回			
	第一志望の進路達成	基礎力向上のための学習向上プログラムの実践 進学先、就職先の情報収集、個別最適化した学習の継続	第一志望進路達成100%			
	各部活動での目標達成	各部活動に必要な筋力、持久力、精神力、栄養学等の学習の充実 専門教科の中でのトレーニングの実践	全部活動県大会ベスト8以上、全国大会出場			
トータルライセンスコース	日商簿記検定2級合格	放課後に日商簿記検定対策講座を実施 自発的に取り組む姿勢の育成	日商簿記検定2級3名以上合格			
	年間2種目以上の検定取得	検定前放課後課外の実施 苦手生徒への個別指導の実施	年間2種目の検定合格100%			
	資格取得を通じて努力する力の習慣化、できるという自信（感覚）の確立	小さな成功体験の場を多く設定 「わからない」をなくし「できる」という感覚の醸成	試験前課外授業年間100時間以上			